

老朽化した市営住宅2棟の取り壊しに伴い、当該市営住宅の戸数を変更するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

条例の廃止

▽館林市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例を廃止する条例
勤労青少年ホームは、勤労青少年福祉法に基づき昭和62年4月に勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図ることを目的とし、赤羽公民館との複合施設として設置されたが、少子化等による人口減少や若者の余暇の多様化等、社会情勢の変化に伴う利用者数の減少及び根拠法の抜本的改正により勤労青少年ホームの設置義務が消滅したことに伴い、その役割を終えたものと判断し、本年3月31日をもって閉館するため、本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

補正予算

▽平成30年度館林市一般会計補正予算(第6号) 11億2609万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ289億318万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成30年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 9945万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ85億833万円とするもので、全員一致で可決されました。
▽平成30年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第2号) 4440万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17億4926万1000円とするもので、全員一致で可決されました。
▽平成30年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号) 1億452万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ65億5764万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成30年度館林市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 1836万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億8022万5000円とするもので、全員一致で可決されました。

平成31年度予算

平成31年度一般会計予算の総額は284億1500万円、前年度比1.0%の増となっています。

また、特別会計(国民健康保険など5会計) 予算の総額は、176億9892万円、前年度比0.8%の増となっています。(詳細については、4ページに掲載)

議員提出議案

▽館林市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
館林市特別職報酬等審議会の答申に基づき、議長、副議長及び議員の議員報酬の額について改定するとともに、所要の改正をするため、本条例の一部を改正しよう

とするもので、賛成多数で可決されました。
▽館林市政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 元号が改め

常任委員会の審査報告

られることに伴い、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

総務文教

付託された案件は、「館林市奨学資金貸与に関する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

付託された案件は、「館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、議会から推薦する各種委員会委員のうち、群馬県共同募金会館林市支会委員に権田昌弘議員を選出しました。
そのほか、館林市障がい

者総合支援センターの現地視察を実施しました。



障がい者総合支援センターの現地視察

経済建設

付託された案件は、「館林市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例を廃止する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、議会から推薦する各種委員会委員のうち、館林市観光協会理事に川村幸人議員と櫻井正廣議員を選出しました。